



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

since 1903

— 創立105周年 —

The Campus News

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

2・3月号

2008. 第136号

編集発行 学園事務局

《2~4月の行事予定》

1年生

1/28(月)~2/1(金) 追再試期間
 2/ 4(月)~ 8(金) 幼稚園実習(保幼)
 12(火)~ 13(水) 幼稚園延長実習予備日(保幼)
 14(木)~ 15(金) 幼稚園実習事後指導日(保幼)
 18(月)~ 28(木) 保育園実習(保幼)
 29(金)・3/3(月) 保育園延長実習予備日(保幼)
 3/ 4(火)~ 5(水) 保育園実習事後指導日(保幼)
 5(水) 卒業式リハーサル
 6(木) 卒業式
 4/ 2(水) オリエンテーション・教科書販売
 3(木) 授業開始(火曜日振替授業)
 4(金) 入学式
 18(金) 健康診断
 24(木)~ 25(金) 新1年生宿泊研修の為休講

2年生

1/28(月)~2/1(金) 追再試期間
 3/ 5(水) 卒業式リハーサル
 10:00~ 大ホール
 6(木) 卒業式 10:00~ 大ホール



行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

学生生活を振り返って

保幼2年1組 栗原 佳奈



私は保育者を目指すことを本当に悩んだ時期がありました。

子供と関わることが好きな気持ちは変わらなくても、その子供たちの成長のために自分は何ができるのか、何をすればいいのかと、具体的なことを考えれば考えるだけわからなくなり、自信をなくしていきました。そんな時、私の支えになってくれたのは、今まで一緒に学んできた友達です。

この2年間、私は多くのことを学べたと思いますが、同じような経験や悩みを持って共感したり、お互いの意見や考えを話し合えた友達との関係は、とても大切なものだと感じます。特に保育研究発表会では、普段あまり話さないような人とも話し合ったりしなければならぬため、時にはお互いの意見が上手く伝わらず、なかなか進めなくなってしまったこともありました。今思えばそういったことも、集団で何かを作り上げることの難しさを知り、それぞれの協調性を高めるいい経験になったと思います。そして、先生方の力も借りつつ最後までやり遂げたときの達成感や、子供たちの楽しそうな姿を見て、皆の顔も自然と笑顔でいっぱいになっていたように思います。

そんな私たちも、もうすぐ卒業し、別々の道を歩んでいくことになるでしょう。でも、それはただの別れとは思いません。これから保育に関係していく人もそうでない人も、今度は違う環境の中で色々なことを経験し、自分が体験した出来事について話し合ったり、アドバイスをすることで、お互いが成長し合えるようなかけがいのない存在になっていけるのではないかと、私は思います。まだまだ未熟な私も、これから出会う人たちのため、またいつか再会する皆のために、成長していきたいです。

12/21・22 保育研究発表会を振り返って

保幼1年3組 吉田 孝



みなさん保育研お疲れ様でした。あんなに力を入れて毎日頑張ったのに、終わってみると夢を見ていたかのようにあつという間という感じですね。

早速ですが、自分が一番関わったBプロについて書きたいと思います。まず大変だったのが、なかなか全体の気持ちが一つにならなかったことです。自分がBプロの代表でいいのかと本気で悩みました。でも、それ以上に嬉しかったのが、本番をみんなが楽しんで舞台上に立っていたことです。誰かが舞台袖で「もう半分過ぎたんだね。

もっと舞台上に立っていたいな。」と言っているのを聞いてとても嬉しくなったのを覚えています。舞台の出来はもちろんですが、本番でついにみんなの心が一つになったことにとっても感激しました。

2年生の舞台については、何回観ても飽きないなあというのが率直な感想です。というか「スグッ!・・・なんだこの出来は・・・」と驚きました。というのも、私は舞台係だったのでリハーサルの時から本番まで毎回舞台袖で観ていたのですが、うさぎが大量発生するシーンや、子どもたちと海原を乗り越えていくシーンなど毎回興奮して観ていました。舞台セットや衣装などもこだわりが見えて、とにかくすべてが格好良かったです。

私は今回の保育研で、幾度となく感動する場面に出会えたように思います。いろんなことが毎日あったけど、最後に笑いあえる仲間がいたことに感謝しています。

私は今回の保育研で、幾度となく感動する場面に出会えたように思います。いろんなことが毎日あったけど、最後に笑いあえる仲間がいたことに感謝しています。



12/21・22 保育研究発表会を振り返って

保幼2年1組 大友 新太郎



皆さん、こんにちは。

去年の保育研究発表会（以下、保育研）は本当にお疲れ様でした。私は今回、展示SPTの委員長として保育研に関りました。仕事内容は、展示発表の運営や設営の計画を先生方や各科目の学生たちと一緒に進めていくというものでした。去年も副委員長として展示の仕事に携わりましたが、その時は内容や流れがよく解らず、ただ2年生の仕事に付いていくという形になってしまいました。そのこともあり、今年は去年の先輩たちに負けないよう自分たちも頑張りたいと思いました。やはり自分たちが中心になると意欲も湧き、情熱を持って取り組むことができました。

しかし、去年の流れと変わっている部分もあり、戸惑ったり苦労する面も多々ありました。特に一番苦労したのは、先生から伝えられたことをもとに自分たちで資料を作り、学生たちの前で説明しなければいけないことでした。どうしたら上手く正確に伝えることができるのか、同じ展示SPTの仲間たちと四苦八苦しながら取り組みました。先生方のアドバイスと一回一回の経験から段々と上手くなっていくのが実感できました。先生と学生の伝達という大切な立場に携われたことを誇りに思います。

皆さんにとって保育研はどうでしたか。今でこそ達成感や思い出が残っていると

思います。それまでの道のりは決して順風満帆なことばかりではなかったと思います。色々な考えを持つ大人たちが大人数で一つのことをやろうとすると、意見の違いやチームワーク等、一人一人苦労したことがあったのではないのでしょうか。しかし、だからこそ保育研には意味があるのだと思います。

一人一人頑張ったこと、悩んだこと、努力したこと、反省したこと、感動したこと、それぞれのドラマがあったと思います。保育研で得た経験を胸に、1年生は来年の学校生活を、2年生は卒業後の進路をみんな共に進んでいきましょう。

